



2020年3月10日

各 位

会 社 名 株式会社プロルート丸光  
代表者名 代表取締役社長 安田 康一  
(JASDAQ・コード：8256)  
問合せ先 取締役執行役員  
事業統括本部長 森本 裕文  
(TEL 06-6262-0303)

## 次期連結業績予想に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2021年3月期（2020年3月21日～2021年3月20日）の連結業績予想について、下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 次期連結業績予想開示の理由

従前は決算短信発表時において次期業績予想を公表しておりましたが、総合衣料卸売事業の事業構造改革による収益改善の効果、新規事業として取組んでおりますコスメ事業の展望、新たに連結子会社となった株式会社 Sanko Advance の事業展開の精査が完了し、次期連結業績予想の見通しが立ったため公表いたします。今後の進捗につきましても状況に変動が生じ次第、適時開示に努めてまいります。

#### 2. 2021年3月期通期連結業績予想数値（2020年3月21日～2021年3月20日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
2021年3月期 ( 通 期 )	百万円 6,640	百万円 100	百万円 85	百万円 50	円 銭 1.76

#### 3. 次期連結業績の見通し

総合衣料卸売事業におきましては、数年来取り組んできた事業構造改革の成果が実る期であると考えており、売場・展示会場及び本社機能の集積により、顧客の買い回りの利便性向上による売上の回復や効率化によるコスト削減を図るとともに、不採算部門の廃止等による一連の事業構造改革により収支改善に努めてまいります。また、レディースアパレルを中心に、利益率の高いプライベートブランドや OEM 生産の拡充、服飾雑貨カテゴリーの拡大により、収益力の向上を図ってまいります。加えて、固定資産の減損損失に伴い、減価償却費が大きく減少することなどから、セグメント利益の大幅な改善が見込まれます。

コスメ事業におきましては、カラーキープシャンプーをはじめとする「カラタスブランド」製品の販売先が国内のバラエティショップに加えて、有名ドラッグストア等にも拡充しており、次期についても売上拡大が見込まれます。

上記より、当社単体業績は、売上高 6,450 百万円、営業利益 55 百万円、経常利益 40 百万円となる見通しであります。

連結子会社株式会社サンマールにおきましては、「セントハウス新橋店」を閉店し、経営資源を集中させることにより、店舗売上の拡大及びコスト削減を図ります。また、今期より「マッキントッシュフィロソフィー」や「ケンコレクションクラシック」などの新規ブランドの取扱いを始め好評を得ておりますが、

継続して新規ブランド開拓を行い、顧客数の増加及び幅広い客層の獲得を目指してまいります。加えて、オーダースーツ受注の展示会販売の拡大等、外販売上の強化により、サンマル単体としての黒字化を図ってまいります。

連結子会社株式会社 Sanko Advance におきましては、コンサートグッズの製造管理における業務委託手数料収入を主な収入原資としておりますが、構成メンバーがエンターテインメント業界において長年の実績を有する背景から、アーティストのブランディングやグッズ企画立案等のコンサルティング業務の依頼を多数受けている状況でございます。これらのコンサルティング収入等を勘案し、Sanko Advance 来期業績を精査したところ、売上高 90 百万円、営業利益 77 百万円、経常利益 77 百万円となる見通しであります。事業計画においては、コロナウィルスによって各地のイベントが中止になっている昨今の状況を考慮して計画されております。なお、当業績予想に関しては 2020 年 3 月 5 日に開催されました、Sanko Advance 取締役会にて承認されております。

以上より、次期の通期連結業績は、各段階利益において黒字化を達成する見通しであります。

(注) 本資料に記載しております予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上